



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社三菱総合研究所
 コード番号 3636 URL http://www.mri.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 京太
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 河内 裕 TEL 03-6705-6001
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月2日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	66,845	0.8	5,151	8.1	5,531	10.4	3,274	2.3
27年9月期第3四半期	66,308	△2.2	4,765	△6.7	5,011	△7.7	3,201	8.3

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 3,426百万円 (△2.9%) 27年9月期第3四半期 3,529百万円 (0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	199.40	—
27年9月期第3四半期	194.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	70,093	46,563	58.0
27年9月期	67,094	44,134	57.3

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 40,624百万円 27年9月期 38,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	25.00	—	30.00	55.00
28年9月期	—	30.00	—	—	—
28年9月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	3.1	5,800	4.5	6,150	5.8	3,550	△3.9	216.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期3Q	16,424,080株	27年9月期	16,424,080株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	212株	27年9月期	212株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期3Q	16,423,868株	27年9月期3Q	16,423,874株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中でありませ

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従って、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(四半期連結貸借対照表関係)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	10
(株主資本等関係)	10
(1株当たり情報)	11
4. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年10月1日～平成28年6月30日)のわが国経済は、回復力の鈍い状況となりました。消費は、世界的なリスク回避姿勢の強まりによる金融市場の不安定化や熊本地震発生などからマインドが悪化し、低調な動きが続きました。設備投資は、円高進行による企業収益の悪化懸念や海外経済の不透明感が重石となり、緩やかな増加にとどまりました。輸出も、アジア向けが軟調に推移し、弱い動きとなりました。

海外経済は、力強さに欠け、先行きの不透明感が増す状況となりました。新興国では、中国の減速が続き経済成長を押し下げました。欧州経済は消費が持ち直したものの、依然低迷状態を脱しきれていません。平成28年6月の英国のEU離脱選択による欧州経済への影響も懸念されます。米国経済は、ドル高による影響などから輸出や設備投資が低調に推移しているほか、雇用市場の改善のペース鈍化により消費の勢いがやや弱まりました。

このような環境下、当社グループは品質及び顧客満足度を最優先しつつ、シンクタンクとして培った科学的手法をはじめ、総合的な機能・サービスを最大限に活用して事業展開を進めました。特に、コンサルティングとICT*を組み合わせた民間企業の経営革新支援事業、金融機関やクレジットカード会社向けのシステム構築などを推進しました。また、電力自由化や社会保障制度改革、地方創生といった社会の新しいニーズに対応した事業開発に取り組みました。

こうした結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は66,845百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は5,151百万円(同8.1%増)、経常利益は5,531百万円(同10.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,274百万円(同2.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(シンクタンク・コンサルティングサービス)

当第3四半期連結累計期間は、官公庁向けでは、環境・エネルギー、社会保障、国際標準化等の公共分野における各種調査案件やシステム開発管理案件、民間向けでは、金融機関向けのリスク管理・規制対応支援案件や鉄道事業者向け顧客データ分析案件などが売上に貢献したものの、大型実証事業案件終了の反動減などにより、売上高(外部売上高)は27,748百万円(同4.8%減)、経常利益は3,211百万円(同14.7%減)となりました。

(ITサービス)

当第3四半期連結累計期間は、メガバンク向けのシステム構築案件、クレジットカード会社向けシステムの機器更改・大型システム統合案件に加え、電力自由化に対応する電力会社向けシステム開発案件などが売上に貢献したことにより、売上高(外部売上高)は39,097百万円(同5.2%増)、経常利益は2,259百万円(同87.1%増)となりました。

* Information and Communication Technology:情報・通信に関する技術の総称

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて2,998百万円増加し、70,093百万円（前年度末比4.5%増）となりました。内訳としては、流動資産が42,287百万円（同5.8%増）、固定資産が27,805百万円（同2.6%増）となりました。流動資産は、短期資金運用のための有価証券が償還により2,499百万円、受取手形及び売掛金が1,906百万円減少する一方、現金及び預金が6,595百万円増加しております。

負債は、未払法人税等が584百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて569百万円増加し、23,529百万円（同2.5%増）となりました。

純資産は、利益剰余金が2,289百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて2,429百万円増加し、46,563百万円（同5.5%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成28年4月27日公表の数値から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は8百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が8百万円増加しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

この税率変更により、当第3四半期連結累計期間において、未払法人税等が164百万円増加し、法人税等は同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,055	17,651
受取手形及び売掛金	10,747	8,840
有価証券	9,499	6,999
たな卸資産	5,595	5,498
繰延税金資産	1,389	1,395
その他	1,711	1,908
貸倒引当金	△11	△7
流動資産合計	39,987	42,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,962	6,495
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	1,490	1,390
土地	720	720
リース資産(純額)	1,131	893
建設仮勘定	515	72
有形固定資産合計	9,820	9,572
無形固定資産		
ソフトウェア	4,472	4,849
その他	698	725
無形固定資産合計	5,170	5,575
投資その他の資産		
その他	12,120	12,708
貸倒引当金	△5	△51
投資その他の資産合計	12,115	12,657
固定資産合計	27,106	27,805
資産合計	67,094	70,093

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,467	2,995
未払金	1,191	1,160
未払費用	1,055	1,243
未払法人税等	877	1,462
賞与引当金	3,080	1,942
受注損失引当金	1	65
資産除去債務	-	9
その他	2,836	4,201
流動負債合計	12,510	13,080
固定負債		
退職給付に係る負債	9,790	9,939
その他	659	508
固定負債合計	10,449	10,448
負債合計	22,960	23,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,336	6,336
資本剰余金	4,851	4,859
利益剰余金	26,250	28,540
自己株式	△0	△0
株主資本合計	37,437	39,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,451	1,349
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	36	20
退職給付に係る調整累計額	△486	△478
その他の包括利益累計額合計	995	889
非支配株主持分	5,700	5,939
純資産合計	44,134	46,563
負債純資産合計	67,094	70,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	66,308	66,845
売上原価	51,383	51,577
売上総利益	14,924	15,268
販売費及び一般管理費	10,158	10,117
営業利益	4,765	5,151
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	103	105
持分法による投資利益	117	223
その他	36	59
営業外収益合計	260	392
営業外費用		
支払利息	10	7
その他	4	4
営業外費用合計	14	12
経常利益	5,011	5,531
特別利益		
投資有価証券売却益	475	141
特別利益合計	475	141
特別損失		
固定資産除却損	15	21
リース解約損	8	2
早期割増退職金	-	9
その他	0	0
特別損失合計	24	34
税金等調整前四半期純利益	5,463	5,638
法人税等	2,021	2,067
四半期純利益	3,441	3,570
非支配株主に帰属する四半期純利益	240	295
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,201	3,274

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	3,441	3,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	△104
繰延ヘッジ損益	△2	3
為替換算調整勘定	25	△18
退職給付に係る調整額	△18	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△23
その他の包括利益合計	88	△144
四半期包括利益	3,529	3,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,303	3,159
非支配株主に係る四半期包括利益	225	267

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	シンクタンク・コ ンサルティングサ ービス	ITサービス			
売上高					
外部顧客への売上高	29,154	37,153	66,308	-	66,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	1,466	1,516	△1,516	-
計	29,204	38,620	67,824	△1,516	66,308
セグメント利益	3,765	1,207	4,973	38	5,011

(注) 1. セグメント利益の調整額38百万円には、セグメント間取引消去3百万円、たな卸資産の調整額3百万円及び固定資産の調整額31百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	シンクタンク・コ ンサルティングサ ービス	ITサービス			
売上高					
外部顧客への売上高	27,748	39,097	66,845	-	66,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97	1,235	1,332	△1,332	-
計	27,845	40,332	68,178	△1,332	66,845
セグメント利益	3,211	2,259	5,470	60	5,531

(注) 1. セグメント利益の調整額60百万円には、セグメント間取引消去22百万円、たな卸資産の調整額△2百万円及び固定資産の調整額39百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

債務保証

次の保証先について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)		当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
従業員(住宅資金等借入債務)	8百万円	従業員(住宅資金等借入債務)	7百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
減価償却費	2,079百万円	2,151百万円
のれんの償却額	76	55

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年12月18日 定時株主総会	普通株式	410	25.0	平成26年9月30日	平成26年12月19日	利益剰余金
平成27年4月28日 取締役会	普通株式	410	25.0	平成27年3月31日	平成27年6月4日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年12月17日 定時株主総会	普通株式	492	30.0	平成27年9月30日	平成27年12月18日	利益剰余金
平成28年4月27日 取締役会	普通株式	492	30.0	平成28年3月31日	平成28年6月7日	利益剰余金

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	194円92銭	199円40銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	3,201	3,274
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	3,201	3,274
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,423	16,423

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)			
	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
シンクタンク・コンサルティングサービス	27,717	14.3	22,944	11.9
ITサービス	40,963	15.8	38,375	10.7
システム開発	25,414	18.3	19,880	16.5
アウトソーシングサービス	15,549	11.8	18,495	5.1
合計	68,680	15.2	61,320	11.1

(注) 1. セグメント間の取引は、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 継続的に役務提供を行い実績に応じて料金を受領するサービスにつきましては、当第3四半期連結会計期間
末後1年間の売上見込みを受注残高に計上しております。

(2) 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	前年同四半期比 (%)
シンクタンク・コンサルティングサービス (百万円)	27,748	△4.8
ITサービス (百万円)	39,097	5.2
システム開発 (百万円)	23,909	6.3
アウトソーシングサービス (百万円)	15,188	3.6
合計 (百万円)	66,845	0.8

(注) 1. セグメント間の取引は、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。